

感謝録（1月19日礼拝）

荒井 久和子姉 不破 満雄兄 加納 幸子姉
小坂 るみ姉 三繩 博兄 三繩 都美子姉
坂田 淑姉 下竹 博兄 下竹 寛子姉
下竹 祐三郎兄 下竹 由美子姉 武井 里花姉
Scroggins 由紀牧師

記事:消息

* RMMO献金 (Retired Ministers & Missionaries Offering)

引退された牧師、宣教師、又その未亡人の中には、経済的に不自由な方がおられます。殊に医療費の問題が大きいようです。アメリカンバプティストのメンバーとして、その方達に少しでも助けになるように、この献金に御協力をお願い致します。Wilbur Warner Trust Fund から1ドルに対し、2ドルがマッチされます。老後を顧みず福音のために尽力された方々に感謝の気持ちを表わしたいと思います。教会あてのチェックのメモ欄にRMMOと記入して、この献金のために特別に用意された封筒をご利用ください。

* 過ぎにし聖日(1月19日)

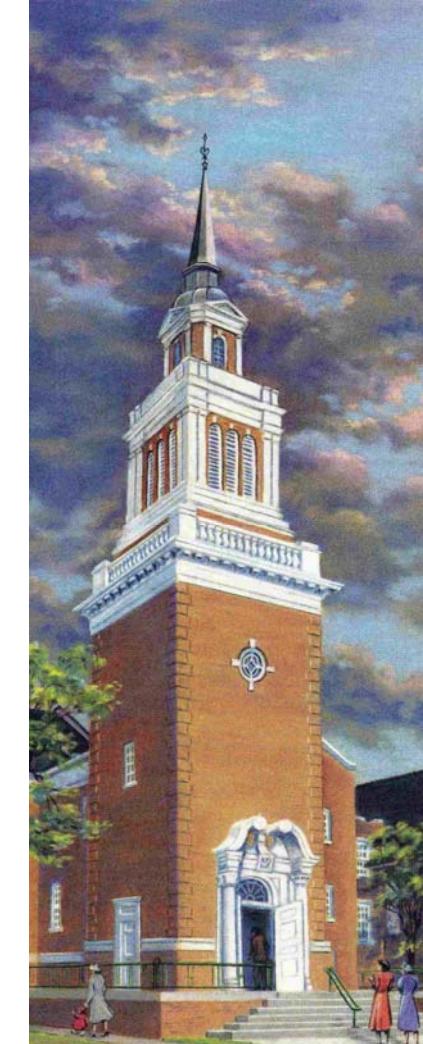
一 由紀牧師の説教は、“神による創造 その2”と題して、創世記1章26-27節からでした。神は人間を神ご自身の似姿に創造され、同時に人間に被造物を治めるようにと命じられました。けれど人間の罪により地はのろわれ、今に至るまで被造物は苦しみ、あがないを求めています。しかし、自然界の現在の苦しみは一時的なものであり、神のご計画によりキリストが来臨されるとき、人間とともに、地と被造物も回復される希望があります。私たちがいよいよ切に祈り、主のご来臨を待ち望むことができますように。

一 聖書研究は、ローマ人への手紙15章10-12節からでした。パウロは、旧約聖書を引用して、アブラハムの契約はユダヤ人のみでなく、異邦人にも及ぶことに言及しています。“エッサイの根から芽が出て、異邦人を治める為に立ち上がる者が来る”と、イザヤ書にあるように、神の愛と真実は、人のかたちをとつてこの世に来られた主イエスの十字架の死と復活によって現わされ、神を知らなかつた異邦人も今や信仰から来る喜びと平安に満たされて、主をほめたたえているという、すばらしい救いの恵みについて考えました。

発行: 2014年 1月 21日ノースショア・バプテスト教会日本語部

スクロギンズ 由紀牧師 (Rev. Yuki Scroggins)

Tel: 773-728-4200 Ext.26 Email: yscroggins@northshorebaptist.org



週報

第3470号

2014年 1月 26日

ノースショア バプテスト教会 日本語部
North Shore Baptist Church Japanese Congregation

5244 North Lakewood Ave. Chicago, IL 60640
Tel: 773-728-4200 Web: www.northshorebaptist.org

日曜日礼拝順序

2014年 1月 26日 午前11時 南部チャペル

前奏		武井 里花姉
頌栄	539	
開会の祈り		Scroggins 由紀牧師
主の祈り		一同
交説文	24 詩篇 100篇	
賛美歌	58 "神よ、みまえに ひれふし祈る"	
祈りの時		Scroggins 由紀牧師
聖書拝読		不破 満雄兄
	創世記 11章 1-9節	
賛美歌	338 "主よ、おわりまで 仕えまつらん"	
説教	「バベルの塔」	Scroggins 由紀牧師
賛美歌	495 "イエスよ、この身を ゆかせたまえ"	
献金		三繩 都美子姉
報告		
頌栄	541	
祝祷		Scroggins 由紀牧師
後奏		武井 里花姉

(礼拝終了:奉仕開始)

祈祷・聖書学習会 午前9時45分 109号室
ローマ人への手紙 15章 指導: Scroggins 由紀牧師

交わりの時 礼拝後 南部チャペル

今週の聖句

イザヤ書 9章 1-4節 詩篇 27篇 1, 4-9節
コリント人への第一の手紙 1章 10-18節
マタイによる福音書 4章 12-23節

憩いの場

"光にある者 "

"兄弟を愛する者は、光におけるのであって、つまずくことはない。" (ヨハネの第一の手紙 2章 10節)

はじめてカナダのバンクーバーに行ったとき、夏だったので9時過ぎても外が明るいことに驚きましたが、長い夏の日を謳歌できる人たちがとてもうらやましかったのを覚えています。実際外が明るいと寝るのがもったいないような気がします。シカゴはカナダよりずっと緯度は低いですが、1月を過ぎると寒い日が続いても、だんだんと日がのびて明るくなってきてることには励されます。日が出ていて光がある、ということは私たちの心理に不思議な安心感を与えてくれますが、それは光があれば、ものがよく見えてつまずかないですむ、という人間の本能による防御的な意味もあるかもしれません。光があるというのは本当にありがとうございます。しかし、光を本能的に愛する人間も、人を愛する事が光につながっているとあまり考えていないかもしれません。実際に自己中心的な愛が憎しみに変わったり、人を傷つける例が、どれほど多くの人たちをつまずかせているでしょうか。この世の人間の愛は、簡単に憎しみに変わるものです。しかし、聖書は兄弟を愛するものは、光にあり、つまずく事がない、と教えています。この愛とは、単なる好意や人間的な執着ではなく、主イエスが示された神の愛、アガペーです。その愛をもつものは、光にあります。わたしたちが人を憎むとき、罪という暗闇の中で自分も他人をもつまずかせていることを覚え、キリストの愛と赦しという光を選択して、その中で常に歩んでいけますように。

(スクロギンズ由紀)